

水道情報活用システム  
標準仕様研究会 アセットマネジメントSIG

マイクロマネジメント分科会  
業務オペレーションの整理

EDITION 1.0  
2023年1月

Confidential

水道情報活用システム標準仕様研究会  
アセットマネジメントSIG

水道情報活用システム標準仕様研究会(以下「当研究会」と称します)は、以下の条件のもとで本使用許諾条件に添付されて提供されるドキュメント(以下「本ドキュメント」と言います)を使用、複製および頒布することを無償で許諾します。本ドキュメントを使用、複製または頒布した場合には、以下の条件に同意したものとします。

1. 本ドキュメントの中に含まれる著作権表示および本使用許諾条件を、本ドキュメントの全部または一部を複製したものに表示してください。
2. 本ドキュメントは、水道情報活用システムに関連して使用することを目的に取り纏めたものです。この目的以外に本ドキュメントを使用する場合は、事前に書面により当研究会の許可を得てください。
3. 本ドキュメントを使用したサービスの提供を含め営利目的に本ドキュメントを使用することはできますが、本ドキュメントのみを単独で販売することはできません。
4. 本ドキュメントは現状有姿で提供されるものであり、当研究会は、本ドキュメントに関して、商品性および特定目的への適合性、第三者の特許権、実用新案権、意匠権、商標権、著作権その他の知的財産権を侵害するものではないことを含め、明示たると黙示たるとを問わず、一切の保証を行わないものとします。また、当研究会は、本ドキュメントの誤りの修正その他いかなる保守についても義務を負うものではありません。
5. 当研究会は、本ドキュメントの使用または使用不能、複製、頒布、その他本ドキュメントまたは本使用許諾条件の規定に関連して生じたいかなる損害(特別損害、間接損害、逸失利益を含みますが、これに限りません)または第三者からのいかなる請求についても、法律上の根拠を問わず一切責任を負いません。当研究会がかかる損害または請求の可能性について知らされていた場合も同様とします。

# 業務オペレーションの整理

水道施設台帳で管理する情報の更新(情報のアップデート)について、各事業者様のレベル合わせをするために日々の業務オペレーションを整理いたしました。

アセットマネジメントにおけるミクロマネジメント分野の課題感として、

①水道施設台帳と固定資産台帳の紐づけ

②整備された水道施設台帳を最新の状態に保つ

ということが挙げられておりましたので以下のとおり整理をいたしました。



## 【業務オペレーション】

### ①水道施設台帳と固定資産台帳のデータを一致させる

- ・資本的支出は固定資産台帳および水道施設台帳へ新たな機器として登録
- ・収益的支出は固定資産台帳への登録はせず、水道施設台帳へ工事履歴や費用を記載

### ②水道施設台帳で管理する情報を常に最新の状態に保つ

- ・工事委託業者に水道施設台帳の更新を依頼することを推奨

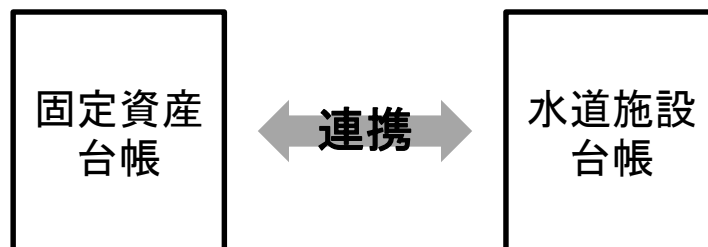
### ③日常点検や定期点検をデータ化

- ・点検の管理項目として、必要最低限の共通5項目を定め、その他項目は事業者様にて追加  
共通5項目<①点検年月日 ②点検対象物 ③点検実施者 ④異常有無(異音、異臭、振動、過熱、漏水、外観など) ⑤機能(指示値、温度、電流、圧力、回転数などの数値)> + 事業者様追加項目

# 業務オペレーションの整理 詳細①

固定資産台帳と水道施設台帳のデータを一致させることでアセットマネジメントの効率化を図ります。

- ◆水道施設台帳の整備方法として「施設」「設備」「機器」の3階層とし、機器を固定資産の単位と決めました。資産管理の効率化を図るため固定資産台帳と水道施設台帳のデータを一致させた管理を目指します。

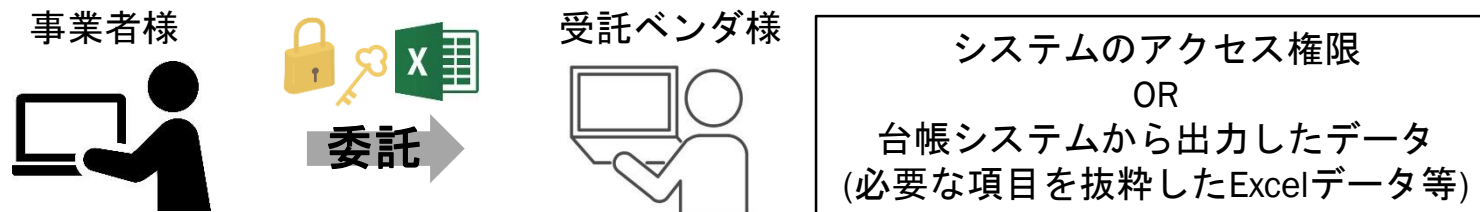


- ・修繕、改修工事について（費用の会計処理）  
資本的支出として処理する場合：総務省様資料「資産評価及び固定資産台帳整備の手引き」にも記載があるとお  
り、固定資産台帳および水道施設台帳へ新たな機器として登録します。  
収益的支出として処理する場合：固定資産台帳への登録はせず、水道施設台帳へ工事履歴や費用を記載します。
- ・管理項目について  
会計の固定資産台帳で管理する項目について、現在価値、減価償却費等の償却に関する項目は二重管理を避ける  
ため、水道施設台帳での管理は不要です。水道施設台帳では、取得原価、取得日、法定耐用年数などを管理する  
ことで償却の計算をできる状況にしておくことで連携を図ります。水道施設台帳から償却費を計算し固定資産台  
帳に連携を図ることはアプリケーション検討の中で議論ポイントとして提案いたします。
- ・固定資産台帳と水道施設台帳の連携について  
工事一式や設備一式で入力している場合は、修繕や改良などの作業により双方のデータの乖離が生じる場合が多  
いという意見が多くございました。乖離を防ぐ方法として、法定耐用年数ごとに入力することを双方の台帳入力  
担当者に徹底させるというルール作りが必要となります。

# 業務オペレーションの整理 詳細②

水道施設台帳で管理する情報を常に最新の状態に保ちます。

◆点検や修繕時に得た機器の性能等の情報についても水道施設台帳に反映させ、常に最新の状態にして管理することが必要になります。水道施設台帳は設備の所管部署、工事担当課等の担当者が適宜更新作業を行うことが望ましいですが、担当で更新することが困難な場合は工事委託業者に入力していただくように発注することを推奨いたします。



・事業者様内で水道施設台帳への情報の追加、修正等の作業が難しい場合について  
修繕改修工事など水道施設台帳への情報の追加、修正等の作業が発生する場合の委託業務の一部として発注することで最新状況を保つことを推奨いたします。セキュリティ面で委託業者様がシステムを直接操作できない場合、システムへ取込みやすいように加工したExcelデータ等で依頼します。

## 【参考】委託業者に依頼する際の仕様書イメージ

### パターンA

受注者は、工事完成後下記に示す書類を指定期日までに提出しなければならない。

その他提出書類及び部数などについては監督職員の指示に従うこと。

#### ■水道施設台帳

※電子データで提出すること。

※各施設毎に施設・設備・機器の三階層で作成し、フォルダ名は工事件名にすること。

※機器は法定耐用年数毎に入力すること。

### パターンB

共通仕様書等に「所定の様式により、今回完成した設備の台帳データを提出すること。」と記載する。

# 業務オペレーションの整理 詳細③

日常点検や定期点検をデータ化することにより、維持管理・保守修繕の効率化を図ります。

◆事業者様の規模によって点検業務や管理項目は多様であり、共通の様式を定めることが難しいと判断したため、必要最低限の共通5項目を定め、その他項目については、厚生労働省様資料「水道施設の点検を含む維持・修繕の実施に関するガイドライン」などを参考に必要に応じて事業者様にて追加してください。

## 【点検業務に関する管理項目】

1	点検年月日
2	点検対象物
3	点検実施者
4	異常有無(異音、異臭、振動、過熱、漏水、外観など)
5	機能(指示値、温度、電流、圧力、回転数などの数値)



厚生労働省様資料「水道施設の点検を含む維持・修繕の実施に関するガイドライン」などを参考に各事業者様で追加

表-3.1.3 コンクリート構造物【施行規則】の点検記録表(例)

		点検日	2019年7月2日
		所属/受託者	水道課管理係
		担当者氏名	水道 太郎
施設名称	A配水池	施設台帳番号	123456
種別	点検項目	異常の有無	異常の部位・状況
水槽外部 コンクリート	ジャンカ、コールドジョイント	<input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有	
	ひび割れ	<input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有	
	浮き、剥離	<input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有	
	錆汁、エフロレッセンス	<input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有	
	鉄筋露出、鉄筋腐食	<input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有	
	漏水	<input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有	
	沈下、変形	<input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有	

## ・水道施設台帳における点検に関する記録について

アセットマネジメントSIGで定めた水道施設台帳項目には点検に関する項目が含まれておりますが、実際の点検業務に関しては、清掃の有無や温度管理などの衛生面や環境面の管理項目があり、機器に紐づかない管理項目が存在します。そのため、日々の点検項目を管理するうえでは、水道施設台帳とは別管理が望ましいです。

ただし、点検を通じて把握した情報(機能の低下、保守部品の増減、修繕有無など)のうち、水道施設台帳で管理している属性情報などの項目に変更が生じている場合は適宜、追加や修正をすることが重要です。

Confidential

水道情報活用システム標準仕様研究会  
アセットマネジメントSIG